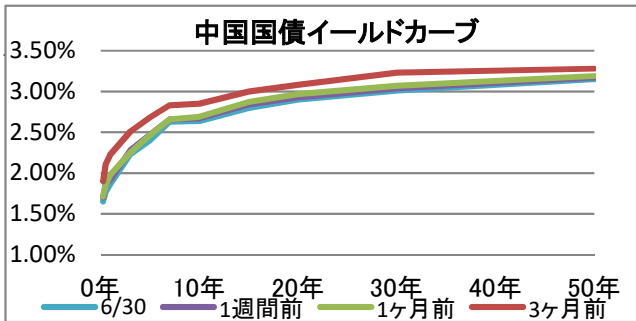
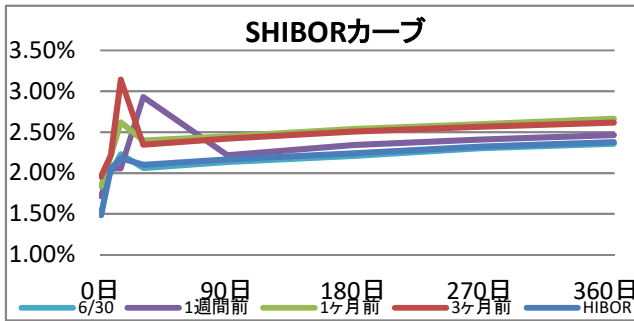


基準レート		2023/6/30	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.2258	+0.0463
	JPY/CNY	5.0094	-0.0701
SHIBOR	3M	2.1680%	+0.0330%
国債利回り	10年	2.64%	-0.03%
上海総合指数		3,203.56	+5.66



(1) 概況

国際金融市場では、欧米金融当局者のタカ派的な発言を受けて、株価は週前半に下落したが、その後公表された経済指標で景気の堅調さや米インフレ指標の鈍化が確認されると反転上昇。債券利回りは追加利上げや金融引締め長期化懸念が根強く上昇。為替市場では、日本と欧米の金融政策スタンスの相違が意識され、円安が更に進行。

中国金融市場では、端午節の予想下回る消費結果や工業企業利益の大幅減益を受けて景気減速懸念の強まりから株価は弱含みで推移したが、PMI公表後は景気対策発動への期待が強まり3200の台を回復し週末を迎えた。債券市場では、景気減速懸念が強く、買い優勢となり債券利回りは低下。為替市場でも、景気減速懸念や国内外の金利差拡大等に伴う国外への資金流出懸念から、人民銀行による基準値の元高設定や国有商業銀行のドル売りの動き等にも拘わらず続落。

中国では、李強総理が夏季ダボス会議で内需潜在力の拡大や高いレベルの対外開放等で有効な措置を打ち出す方針や今年の成長率が5%前後に達するとの見方を示し、国務院では、2022年度の中央予算執行状況等の監査業務報告で金融企業の国有資産監査状況等を、また一部の自由貿易試験区等の対外開放を更に進める措置を公表し、同常務会議では家計消費促進の措置を講じる方針を示した。人民銀行・潘功勝副行長が同行党委員会書記に任命され、人民銀行は農業支援や中小零細企業支援の再貸出・再割引の限度額を引き上げ、人民銀行金融政策委員会では、大幅な為替変動リスクを防止し、合理的な水準での安定を保つ方針を示し、国家金融監督管理総局は、企業グループ・ファイナンスカンパニーの監督管理評価法を公表し、銀行等に対してアウトソーシングサービスに関するネットワークやデータ管理に関する自主検査・改善を要求。この間、中国当局による為替取引等に関する聞き取り調査強化や主要国有銀行がオフショア市場でドル売りを実施した等との報道があった。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日4160億元に対して、リバースオペ9730億元を実施し、ネットで5570億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・工業企業利益 (1-5月) は前年比-18.8% (1-4月-20.6%) と大幅減益ながら、減益幅はやや縮小。電力、熱力等 (+34.8%、同+34.1%) は高い伸びを維持し、製造業では、素材関係やPC・通信等電子設備関係の大幅減益が続くも、EV販売や輸出が増加している自動車 (+24.3%、同+2.5%) や新工ネ製品を中心とする電機の高伸から、これらを含む製造業 (-23.7%、同-27.0%) の減益幅が縮小。
- ・国家統計局PMI (6月) は、製造業が49.0% (5月、48.8%)、非製造業が53.2% (同54.5%)、総合が52.3% (同、52.9%) と、製造業は若干改善ながら3カ月連続で分岐点の50%を下回り、非製造業も3カ月連続で低下しており、総合でも3カ月連続での低下となった。製造業のサブ指数は生産が50%を回復する一方、雇用等が悪化し、非製造業では、航空運輸関係等は好調だったが、不動産等の不振が続いている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4840%	1.4840%	1.4000%	
1W	2.0630%	2.0630%	3.5000%	
2W	2.1800%	1.9900%	2.9000%	1.8000%
1M	2.0990%	2.6000%	4.0000%	1.8500%
3M	2.1680%	4.6000%	2.2700%	2.2000%
6M	2.2420%	2.5600%		2.2600%
9M	2.3250%			2.3100%
12M	2.3790%			2.3300%

四半期末となる週末に向けて金利水準の上昇が続いており、ターム物の金利水準は四半期末越えとなる1ヶ月物も2.4%を越える水準で出合っているものの、取引規模は限定的となっている。

NCDの金利水準も、四半期末越えとなる1か月超での上昇が続き、ターム物は、1ヶ月が2.4%台、3ヶ月が2.2%台、6ヶ月が2.2%台後半、1年が2.3%台後半で取引されていたが、金曜日の四半期末要因剥落後は1ヶ月を中心に低下に転じている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.30%	5.35%
1W	5.40%	5.45%
1M	5.60%	5.65%
3M	5.65%	5.75%
6M	5.70%	5.75%
12M	5.70%	5.75%

中国国内市場では、米国の金融引き締め警戒感が強く、ビッドしつかりの状況に変化なく、ターム物の出合いは依然として限定的。ターム物は、1ヶ月が5.6%台、3ヶ月が5.7%台で取り引きされている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.65%		2.15%	2.25%	2.43%
6M	1.77%		2.24%	2.37%	2.56%
1Y	1.87%	1.95%	2.36%	2.49%	2.68%
3Y	2.23%	2.38%	3.62%	2.82%	3.40%
5Y	2.40%	2.58%	2.78%	3.08%	3.76%
10Y	2.64%	2.87%	3.03%	3.30%	4.05%

米国債券市場では、週後半に雇用改善を示す経済指標を受けて利回りが上昇に転じ、欧米でインフレ鎮静化を示す指標が続いたものの、利回りは高止まりとなる展開となった。中国債券市場では、四半期末要因が剥落する中で景気先行き懸念からの買戻しが続き、金曜日の統計局PMIの鈍化傾向維持を確認すると景気刺激策への期待が一段と強くなり利回りは低下に転じている。この結果、米国の10年国債利回りは3.84%（前週比+11bp）に上昇し、10年中国国債利回りは2.64%（同、-3bp）に低下したことから、利回り差は+120bp（同+14bp）に拡大した。

中国債券のイールドカーブは、全体的に低下に転じる中、四半期末要因の剥落や景気刺激策への期待から短期の利回り低下が相対的に大きく、スティーピングに転じている。クレジットスプレッドは、利率債利回りの低下を主因に拡大している。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-256.5 / -256.0
3M	-770.0 / -768.0
6M	-1450.0 / -1446.0
9M	-2113.5 / -2105.0
12M	-2674.0 / -2670.0

対ドル基準レートは7.2258と前週末比+463pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0094と同-701pipsの円安元高と、市場での対ドルでの急激な元安を受けて元高方向での設定が続いた。中国国内市場では、週初から配当需要や中国経済先行き懸念からの金利差拡大により元安となり、人民銀行の元高方向での設定や大手銀行のドル売りにも関わらず元安が続き7.26台で週末を迎えている。

先物は、金利差拡大を背景に、1年物は-2500台での取引が続いている中で、金曜日の統計局PMIが低調であったことから追加の景気刺激策への期待が高まり、-2600台後半までマイナス幅を拡大して週末を迎えている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.99%		1.78%
6M	1.98%	2.16%	1.62%
9M	2.00%	2.19%	1.53%
1Y	2.01%	2.21%	1.64%
3Y	2.24%	2.49%	2.00%
5Y	2.45%	2.75%	
7Y	2.58%	2.91%	
10Y	2.70%	3.03%	

スワップ金利は、債券利回りの低下により小幅な低下に転じた。債券利回りとの差であるスワップスプレッドも、小幅な縮小が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお読みください。